



発行：新潟市仏教会
責任者：小林 一三

あいさつ

新潟市仏教会会長 小林 一三

(真言宗智山派 普談寺住職)

二期目の会長を務めさせてもらっております。新たな役員並びに会員の方々には大変な御理解と、御支援を頂いておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、近年は自然災害が多発し、多くの生命、財産が失われていることに、心を痛めている者の一人であります。

とくに私事となりますが、寺に生まれ、寺で育ちながら土木技術吏員となり、しかも防災専門員として幾つかの現場に関わってきました。

なかでも新潟地震、下越水害、続いての羽越水害の発生は、記憶に残る大災害となりました。五十年前のことです。

土砂災害で一三四名の死者、浸水被害では二年連続で収穫ができなかった地域もあり、地域経済に大きな影響を与えました。市民の安全、安心の信頼を失う結果を招き、

被災者の方々が国、県に対して「訴の提起」がなされ、新潟地裁から最高裁の結審まで十七年という長期に渡り、いわゆる人災、天災論の水害裁判となりました。

この事案の本旨は、その地域に住む人の生命、財産の尊さと、築き上げた文化の集積や地域の価値の認識を問うものでもありました。

多発している最近の自然災害の現状を見るととき予想を超える雨量、長時間の雨、突風、高波、地震、火山、それに気温の寒暖差の大きさ等は、これまでの経験、記録をはるかに超えた現象に唯々驚愕するのみであります。

しかしながら各地の被災地の復興のかたちの背後には、仏教とそれを具現化している僧の積極的な姿が見えることは大きな希望であります。

さて水害裁判では法務大臣認命の指定代理人と本件の被告人の経験をした者にとつてはとくに感慨深いものがあります。

自然災害だけでなく、他の要因による社会不安、とくに生命、財産に関する危機に対する、地域にある寺院、神社の役割は大きなものがあります。

これを管理運営する僧侶と神官は、なお重大な責務と大いなる期待を背負っているものと確信しております。

おわりに当新潟市仏教会、県仏、全仏ともども正しい情報を共有し、各々は各宗派の教義のもと、国民の平和と安寧に向けて精進し、併せて各御寺院の興隆、檀信徒の幸せと、仏教会の発展をお祈り致します。



秋葉公園にある平和塔(仏舍利塔)と
“念ずれば花ひらく”碑
(詩 坂村真民)



慈母観音 早川亜美作
羽越水害時、土石流の先端にあった
花崗岩に彫刻した碑
平29. 11. 5(写) 石津不二男

シリーズ 市区八区



秋葉区

秋葉区の記事

寄り添い、繋がつていく願い

改観寺坊守 (住職夫人)

東護典子

改観寺では、お寺と地域が密接に結びつくように過ごせたらと思いい、行事をしています。二月は「雑巾講」。冬は地域の集まりが少なくなりますが、こもりがちなか冬にこそ、寺に集まって頂き、雑巾を縫って頂くのです。どなたでも参加できます。毎年待ち遠しく、楽しみにしています。冬の間にはたくさん雑巾を縫っておいで下さいます。当日は、二胡とギターのコンサートがあり、住職と一緒にみんなで歌います。その後、四国生れの住職が手作りだしの讃岐うどんを振舞い、本堂は賑やかで和やかにいきます。「雑巾講が終わると毎月の勤行講や農作業がはじまる。春が来る心の準備ができるよ。」と言われます。



本堂じよんのびコンサート

十月には「雑巾贈呈法要」。三条別院に心をこめて縫った雑巾を毎年二八〇枚ほど贈呈し、勤行や法話をお聞きし、おいしいランチを皆で食べ、ご旧跡巡りをする日帰り旅行をしています。お届けした雑巾は、水害や大地震の際に、被害の片付けや仮設住宅の結露防止として大活躍したこともあります。一人ひとりの力は小さくても、できることから継続してやっていくことの大切さ



謝肉祭の曲にあわせて、文殊菩薩 (住職)と善財童子が登場



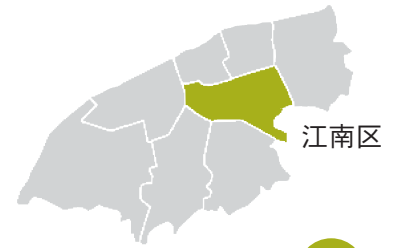
雑巾講：讃岐うどんおいしい〜

を実感します。多くの方々に支えられて十六年間続けています。また七月には「本堂じよんのびコンサート」を十四年間続けています。特徴として、毎年演奏家が変わり、様々な楽器によるアンサンブルが楽しめることと、住職が脚本・演出をして、曲との間に地元の方々が芝居を演じることです。子どもたちも参加してくれれます。演奏家と半年をかけて創り上げていきます。一期一会の演奏家と演劇の共演を楽しみにして下さる方々が増え、昼と夜の二回の公演とも満堂になります。また庫裏を公開して、絵画や庭園をゆったりと楽しんで頂いています。

最近ホームページを始めました。体調や都合が悪くておいで頂けなかった方に、当日の雰囲気をお伝えできたらと思いい、コンサートの動画配信をしています。少しでも仏縁を結んで頂ければとお誘いやお声がけをしています。

それぞれの行事は、その当日だけでなく、準備から終了後の感想までのプロセスを大事にして、お寺が地域の皆さんに寄り添い、繋がつていく関係でありたいと願っています。

シリーズ 市区八区



江南区

江南区の記事

江南区仏教会の
総会に出席して

通心寺住職 清水幸栄

私たち江南区では、昨年、新潟市仏教会の支部組織として、江南区仏教会を立ち上げました。今年六月二十七日、第二回総会を、会長の自坊、沢海の大榮寺様において開催しました。現状報告では、区内寺院の約半数が入会したとのことで、曲がりなりにも歩み始めたいと出席者で確認したことです。それにしても、約半数の寺院の入会同意が得られなかったことは重く受けとめなければならぬと思います。その入会しない理由は、一言で云えば、会の目的意義が見いだせないと言ふことではないでしょうか。

そういうことを念頭に置いてでしょうか、一人の会員の方から次のような意見が出されました。

それは、檀家参りの時、ある家庭が、いわゆる「カルト教団」に一人が入信しているために、家族がバラバラになってしまっているところがあるが、どう対応していいかわからない、と言うものでした。できれば「カルト」について仏教会全体で話し合い、勉強会をもってもらいたいという意見でした。

実は私自身も似たような事例に会っていて、その発言に深く共感しました。カルト教団が引き起こす問題（原理主義的考え方、マインドコントロール、洗脳、基本的人権の侵害）は、ひよっとすると私たちが思っているよりも深く、広く、身近に浸透しているのかもしれない。

現在、「宗教」を一般的にはどう受け取られているかという点、

「なんとなく怖い」「うさんくさい」ものとして受けとめられているように思います。けれども、私は、人間が存在自体の不安をかかえ、「究極のよりどころ」を求めらるものである限り、宗教は絶対必要だと思えます。カルト教団の信者は、自分の思い、考えを絶対正しいとして、自分を疑うことをしません。自分を疑うことは苦しいので、私たちは楽な方へ流れる性癖をもっているようです。このように考えると、私たちは誰でもカルト的な心を持つているのではないかと思えます。カルト教団の信者を自分の身に引き当てて、反面教師として受けとめて行けば、理解が深まるのではと思えます。

仏教会は宗派を超えて集う場であるところに利点があると思いますが、それを大いに楽しみ、交流を深めていきたいと思えます。



大榮寺山門（江南区沢海）

『新潟市に区が八区』あることと、仏教語にある『四苦八苦』をかけて、各区の記事を順番に紹介するコーナーです。

予告 第11回 市民のための仏教講座

笑い飯 哲夫の おもしろい仏教講座

講師／笑い飯 哲夫

日時／平成30年10月10日(水) 会場／新潟県民会館

関西学院大学文学部哲学科卒業後、2000年に西田幸治とお笑いコンビ「笑い飯」を結成し、2010年にM-1グランプリ優勝を果たす。

幼い頃から般若心經に関心を持ち、独学で仏教を研究する。写経する姿を多くの芸人に目撃され仏教好きを公表。以来、東京大学をはじめ各地で講演を開始。

2015年より奈良国立博物館の文化大使を務めている。



笑い飯 哲夫 (わらいめし てつお)

性別：男性

生年月日：1974年12月25日

身長／体重：173cm／68kg

血液型：A型

出身地：奈良県桜井市

趣味：スキー／花火鑑賞／モーグル

著書

『ブッダも笑う 仏教のはなし』

『えてこでもわかる 笑い飯 哲夫訳 般若心經』他



後記に代えて (廣林坊)
だいての発行。鳴謝不尽。

この『仏法僧』も執筆諸師や印刷会社の担当者、目に見える目に見えない、多くの力をいた

確率。今年は宝くじを買ってみようと思う。

鶏肉のカンピロバクターが悪さをして、免疫システムを狂わせ悪さをする。千人に一人位の

多くのお蔭で動いていた、と気づきを頂戴。

動いていた。私が動かしていたのではなかった、

いたことが、本当はあたりまえでなかった。末梢神経の障害で四肢に力が入らない。神経や自

己免疫力はじめ、身体のすべてによって手足が

上がった女性看護師の握力は35キロ。

上がった女性看護師の握力は35キロ。世話して

上がった女性看護師の握力は35キロ。世話して

《編集後記》